

## 令和8年度都立府中西高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・基礎・基本の定着 ・家庭学習時間の向上	・漢字テスト等で語彙力の向上を図る。 ・定期的に課題を出し、家庭学習の習慣づけをする。	・定期考査で定着度を測り、指導に活かす。 ・家庭学習を続けることで、希望の進路実現につなげる。
地理歴史	思考力・判断力・表現力を深める	レポート課題を通じて、知識を深め、自分の考えを発表する場を設ける。	グループワークを通じて他者の意見を取り入れ、自他の考察を深める。
公民	多面的・多角的な思考の養成	プリントや資料を活用して事象を主体的にとらえさせる。	社会の具体的事象などを自分なりの思考でまとめる取り組みを行う。
数学	数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を充実させる。	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるための習熟度別授業を実施する。	数学を活用して事象の本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力を養うために単元ごとにふり返る活動を実施する。
理科	自然の事物・事象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究するために必要な資質・能力を育てる。	・理科における基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的な考え方を身につける授業を実施する。 ・問題解決を通して、考察したり、実践する力を養う。	事物・事象の本質を認識し、発展的に考察する力を伸ばすために、単元ごとに「振り返り」活動を実施する。
保健体育	豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する	グループ活動を多く取り入れ、教え合いや関わり合いの中で生徒の主体性が育まれるよう指導する。	自己の考えや仲間の考えたことを他者に伝える能力を養い、リーダーシップを発揮できる能力を身に付けさせる。
芸術	芸術や芸術文化と豊かに関わり、感性や表現力を育む。	表現における、発想や構想の能力を高めるよう喚起し、思考力、判断力、表現力を向上していく。	生徒が生涯に渡って主体的に芸術に触れ、興味関心を持っていけるようにする。芸術と社会との関わりについて関心を持たせる。
英語	・基礎、基本の定着 ・主体的に学ぶ力の育成 ・英語で主体的にコミュニケーションを取ろうとする態度の育成	・少人数編成授業、習熟度別授業等を取り入れ、個に応じたわかりやすい授業を行う。 ・自ら英語で発信し、JETやALTと積極的にコミュニケーションを取る機会を与える。	・主に長期休業中に、進路実現を見据えた補習、補講を行う。 ・校内で英検を実施し、英語の4技能の力をバランス良く伸ばすことを目指した指導を行う。
家庭	豊かな社会生活を営むための知識や技能を習得する。	視聴覚教材や実習を加えた授業を展開する。生徒間での話し合いの場を設け、互いの意見を尊重しながら学びを深める。	人生100年時代を生きる視点を持ち、自らの生活をよりよくするための視点をもつ。
情報	情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に取り組む態度を養う。	具体的な情報活用例をもとに、問題の発見・解決に向けて取り組む力を養う。	他教科とも連携し、情報と情報技術を身に付け、更なる情報社会と人間との関わりについて探究する。